

循環器内科

担当医より

緊急性の高い疾患の場合は、カテーテル治療や手術可能な施設にご紹介させていただきます。外来における冠動脈疾患の検査（CT）、心臓超音波検査による弁膜症などの定期フォロー、不整脈検出のためのホルター心電図に加え長時間心電図記録器での評価も可能です。

狭心症

持続する強い胸痛や冷汗などを伴う場合は急性冠症候群を念頭に緊急冠動脈造影検査が可能な施設への搬送が急がれますが、それ以外で虚血性心疾患が疑われる場合は、当院で評価させて頂き治療方針を決定することが可能です。



心不全

心不全パンデミックともいわれ、高齢人口の増加に比例して心不全患者は急増しています。増悪時の入院対応はもちろんですが、いま少し改善に乏しいときに、再評価などでご紹介頂ければと思っています。



弁膜症

心不全の原因にもなりますが、「年のせい」と思われるような息切れ、動悸で症状がすでに現れているかもしれません。根本的な治療には「手術」が必要な場合がありますが、心エコーにより弁膜症の診断や、経過観察などを行います。

県内では、大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療が可能となってきていますので、これまで手術は困難であった高齢患者さんの治療に繋がるかもしれません。

機器の刷新、
検査技師さんの
計測の標準化に
取り組んでおります。



心エコーについて



社会医療法人 潤心会

熊本セントラル病院

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2921



096-340-5001 (代表)
096-285-5453 (地域連携部)



aaa@kchosp.or.jp

